

# 地域との協働による高等学校教育改革推進事業

令和3年度予算額  
(前年度予算額)

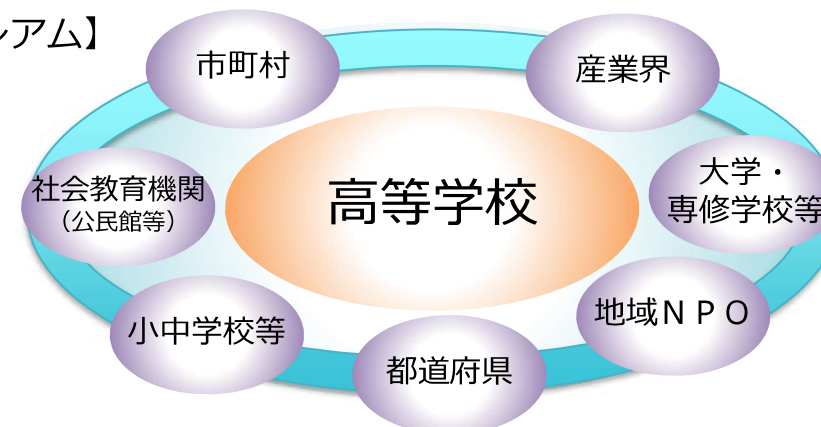
219百万円  
252百万円)



文部科学省

高校生と地域課題のマッチングを効果的に行うためのコンソーシアムを構築

【コンソーシアム】



- ◆ 地域との協働による活動を学校の教育活動として明確化
- ◆ 専門人材の配置等、校内体制の構築
- ◆ 学校と地域とをつなぐコーディネーターを指定
- ◆ 将来の地域ビジョン・求める人材像を共有し、地域協働に資する学習カリキュラムを開発

【プロフェSSIONAL型】

地域の産業界等との連携・協働による実践的な職業教育を推進

〔 ※専門学科を中心に実施  
(指定校数 15校) 〕

【地域魅力化型】

地域課題の解決等を通じた学習カリキュラムを構築し、地域ならではの新しい価値を創造する人材を育成

〔 ※普通科を中心に実施  
(指定校数 26校) 〕

【グローバル型】

グローバルな視点を持って地域を支えるリーダーを育成

〔 ※全学科を対象に実施  
(指定校数 24校) 〕

【PDCAサイクル構築のための調査研究】

成果指標等の作成検証等による地域との協働による教育改革のPDCAサイクルの構築、成果普及のための全国サミット等を実施

対象  
校種

国公立の高等学校

委託先

学校設置者等

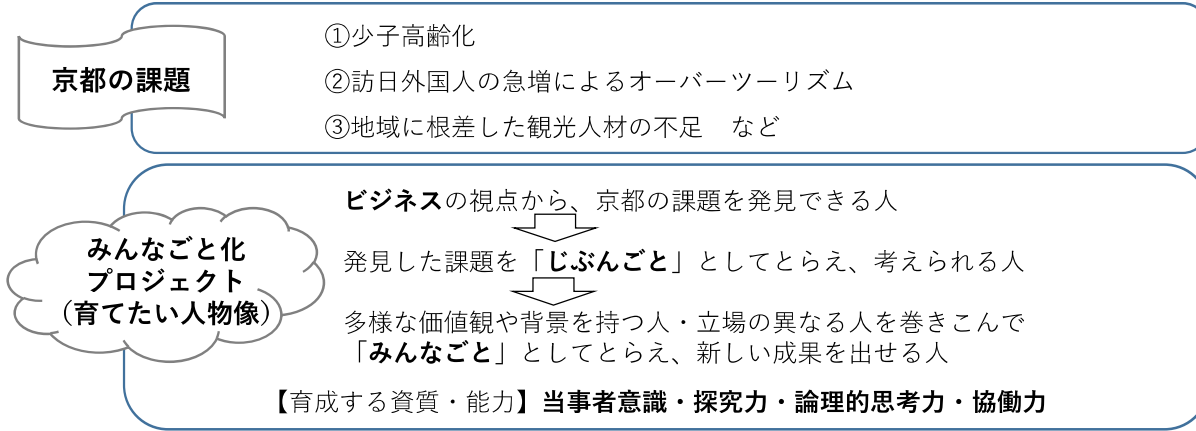
箇所数  
単価  
期間

65箇所 (R1指定51校, R2指定14校)  
220~360万円程度/箇所  
3年

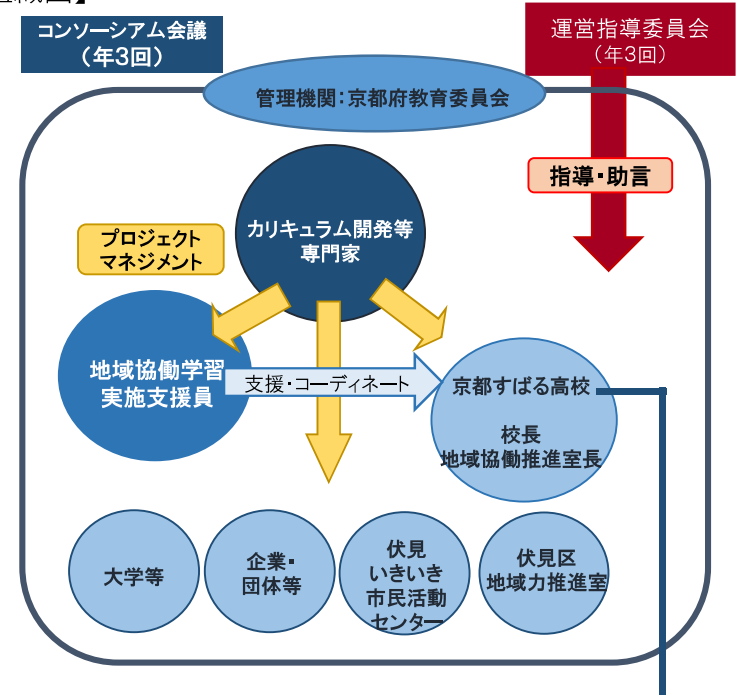
委託  
対象経費

カリキュラム開発に必要な経費  
(人件費、委員旅費、謝金等)

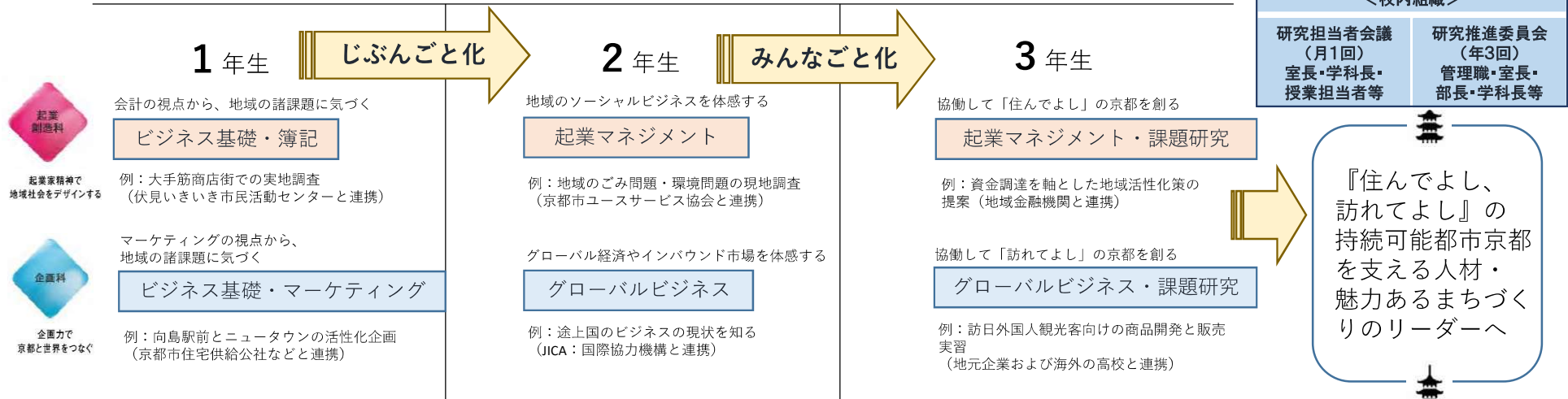
# 『住んでよし、訪れてよし』の 持続可能都市京都を支える人材育成に関する研究 ～京都すばる高校：みんなごと化プロジェクト～



## 【組織図】



## 【3年間の流れ】



コンソーシアム内で企画・協働実施・成果検証